

環境戦略とマネジメント

ブラザーグループの環境戦略

「Brother Earth」をスローガンに、持続的発展が可能な社会を目指して活動を加速

ブラザーグループは、商品のライフサイクルの全プロセスに配慮した「環境配慮型製品」をお届けし、従業員一人ひとりが地球環境の保全に向けた取り組みをグローバルに展開しています。

ブラザーグループの環境保全活動の起点は、1993年に定めた「ブラザーグループ環境方針」(以下、環境方針)です。1999年にブラザーグループがグローバルに展開するすべての活動の礎として制定された「ブラザーグループ グローバル憲章」の中でも、持続的発展が可能な社会の構築に向け、企業活動のあらゆる面で地球環境への配慮に前向きで継続的な取り組みを行うことを約束しています。

この取り組みを前進させるため、2010年に私たちの環境活動を象徴するロゴとスローガン「Brother Earth」を策定しました。ブラザーグループの従業員一人ひとりは、「Brother Earth」のもと、「よりよい地球環境を、あなたとともに。」をグループの統一的なメッセージとして、さまざまな活動を加速させています。

なお、2012年には、「ブラザーグループ社会的責任に関する基本原則」を制定し、その中でも、地球環境の保全について、グループ各社が負う責任と行動の根本的な考え方を表明しています。



ブラザーグループの環境方針と環境活動への展開

基本理念

ブラザーグループは、持続的発展が可能な社会の構築に向け、企業活動のあらゆる面で環境負荷低減に前向きで継続的な取り組みをしていきます。

環境基本方針

環境への配慮はすべての活動の基本となる。製品が開発・設計され、製造され、お客様によって使用され、やがて廃棄され、再利用されるまで、すべての段階で安全かつ環境に対する影響を十二分に配慮する。

行動指針と環境活動への展開

行動指針	環境活動への展開
1. 製造・製品・サービスのすべての事業活動領域において環境目標を定め、環境側面を継続的に改善する。	生産拠点・販売拠点ともISO 14001を取得し、CO ₂ 排出量削減のための省エネなど、環境負荷低減活動を実施。
2. 事業を展開するすべての国で法規制を順守することはもちろん、汚染の予防、環境負荷の低減に高度な倫理観を持って行動する	各国の環境法規制に対して徹底した管理体制を敷くことにより、ヌケ・モレを未然に防止し、早期対応を推進
3. 技術・製品の開発設計に当たっては、資源の節減(効率化)・循環、有害物質による汚染の回避を常に考え行う。	製品開発に当たって、省エネ性能、有害化学物質の不使用、リサイクル性の考慮など、さまざまな面で環境配慮型製品を開発。
4. ブラザーグループ各社の個々の自主的取り組みを尊重しつつ、「一体のグループ」として環境上の使命を達成する。	グループの統一指針となる「ブラザーグループ中期環境行動計画」を策定し、これに基づいて活動を推進。
5. 環境教育、社内広報活動等により、全社員の環境意識の向上、啓発につとめる。	新入社員教育、技術者専門教育、全社員向けe-ラーニングなど、さまざまな教育機会を設け、環境意識の向上に注力。
6. お客様、地域社会、その他関係者に対して、当社の環境に関する取り組みを積極的に開示し、理解を得る。	環境施設の紹介、各種展示会への出展、小学校など教育機関への出前授業、植林活動などの活動を積極的に開示。
7. すべての事業活動領域において生態系への影響の削減に努め、生物多様性の保全に取り組む。	生物多様性に配慮した原材料調達、FSCなどの認証紙の採用、森林の復元・保全などの生物多様性保全活動を推進。

環境戦略とマネジメント

ブラザーグループの環境戦略

「Brother Earth」をスローガンに、持続的発展が可能な社会を目指して活動を加速

事業活動における環境負荷



環境戦略

ブラザーグループは、環境上の課題に対して継続的な取り組みを行い、より高いレベルで社会的責任を果たし、グループの環境活動を業界トップグループに引き上げることで、グループ従業員が心の底から「誇りの持てる企業」となることを目指しています。

これを達成するための戦略として、

- 継続した環境負荷低減活動
 - ・ブラザーグループ全体の環境負荷低減
 - ・国内事業所の環境負荷低減
- ビジネスの競争力強化
 - ・製品における環境性能の一層の向上
 - ・的確な法規制対応によるビジネスチャンスの獲得
 - ・環境配慮製品のWeb公開を通じたお客様への訴求
- ブランド価値の向上
 - ・「Brother Earth」のステートメントの外部発表
 - ・社会貢献活動のグローバルでの積極的な展開
 - ・環境活動全般のWeb公開を通じた社会への訴求

を挙げ、その実現のために「Brother Earth」をスローガンとした「ブラザーグループ中期環境行動計画2015」(2011～2015)を策定、環境配慮製品の創出、事業所の環境負荷削減、法規制と社会動向への対応、環境コミュニケーションの各分野で2015年までに達成すべき重要課題を特定して意欲的な環境目標を設定し、着実な進歩を遂げています。特に、2015年度は最終年として目標達成に向けて様々な施策や活動を計画しています。

同時に、ブラザーの環境戦略が目指すトップレベルへの水準点として、海外では「CDP(カーボンディスクロージャープロジェクト)」で85点*評価B(前年78点評価B)、国内では「日経環境経営度調査」の製造業ランキングで16位(前年36位)など、第三者による評価も積極的に受けています。また、環境活動の総合力が認められ、「2014年愛知環境賞」の金賞を受賞しました。

*: スコアは、CDPの質問書に対する回答についての評価点です。

Brother Earthで目指す2015年のブラザーの姿

- ・お客様から「環境意識の高い企業」として認められている。
- ・地域社会から「環境意識の高い企業」として認められている。
- ・環境意識の高い従業員にあふれ、中期環境行動計画を達成している。

環境戦略とマネジメント

ブラザーグループの環境戦略

環境戦略

「Brother Earth」

ブラザーグループでは2010年より、私たちの環境活動を象徴するロゴとスローガン「Brother Earth」を策定し、「よりよい地球環境を、あなたとともに。」をグループの統一的なメッセージとして、さまざまな活動を加速させています。



*: 動画はYouTubeを利用しています。

また、社会への訴求に向け、環境スペシャルサイト「Brother Earth」を開設し、ブラザーならではの環境活動や思いを分かりやすく発信しています。

環境負荷削減のキーワード「5R」

ブラザーグループでは1999年より、循環型社会を構築するためのキーワード「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」に、「リフューズ」と「リフォーム」を加えた「5R」をキーワードとして環境活動を行っています。特に「リフォーム」は、新しい意識と発想で現在あるものの形を変えて新しい価値を生み出すという、ブラザーグループ独自の考え方です。

「5R」という考え方



Refuse(リフューズ)	環境負荷となるものをなるべく購入しない
Reduce(リデュース)	排出量を減らす
Reuse(リユース)	排出物をそのまま再利用する
Reform(リフォーム)	形を変えて別の用途に使用する
Recycle(リサイクル)	資源として再利用する